

第14回書道パフォーマンス甲子園
予選申込に係る関係資料集



(R3. 4. 13 現在)

書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

目 次

第14回書道パフォーマンス甲子園	大会記念誌（仮称）のご案内	1
第14回書道パフォーマンス甲子園	開催要項	2
第14回書道パフォーマンス甲子園	予選演技規則等における変更点	5
第14回書道パフォーマンス甲子園	予選実施要領	7
第14回書道パフォーマンス甲子園	予選審査基準における変更点	9
第14回書道パフォーマンス甲子園	予選審査基準	11
第14回書道パフォーマンス甲子園	予選実施要領 Q & A	15
第14回書道パフォーマンス甲子園	予選参加申込書	24
第14回書道パフォーマンス甲子園	作品・演技説明	25

第14回書道パフォーマンス甲子園 大会記念誌（仮称）のご案内

第14回書道パフォーマンス甲子園について、参加をご検討いただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

ご案内のとおり、第13回大会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止といたしました。演技動画の配信や書道パフォーマンス作品の展示、そして冊子の作成などの代替事業を実施したところです。

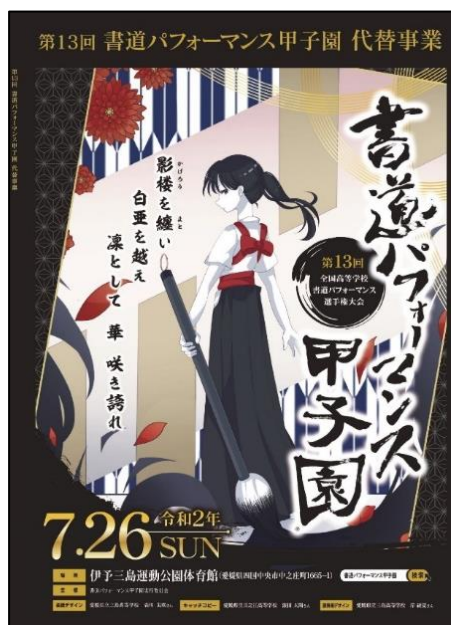
特に、冊子につきましては、書道パフォーマンス作品の紹介をはじめ、各学校の特色や活動の様子、また部長や指導教諭等のコメントを掲載するなど、参加した選手にとっては思い出に残る一冊になったものと考えております。こうした中で、冊子について継続的に作成してほしいとの声が多く寄せられたことから、第14回大会におきまして、大会結果をはじめ予選に参加した全ての学校の作品等を紹介する大会記念誌（仮称）を発行することといたしました。

つきましては、大会にご参加いただく皆さんには、作品の写真データや原稿等の提供にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

なお詳細は、予選結果発表頃にご案内させていただきます。選手にとって大会参加の証となるものにしたいと考えておりますので、ぜひとも第14回大会にご参加のほどよろしく願いいたします。

<第14回大会記念誌（仮称）の概要>

- 1. 内 容 予選及び本戦の結果、各校の作品写真・紹介文、部員の集合写真・活動写真、部長等のコメントなど
- 2. 発行時期 10月頃（予定）
- 3. その他 大会記念誌（仮称）については、販売を予定しています。



大会記念誌（仮称）のイメージ（第13回大会代替事業冊子）

第14回書道パフォーマンス甲子園 開催要項

1. 大会名称

第14回書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会）

2. 開催目的

日本一の紙のまち四国中央市で「書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会）」を開催し、伝統文化としての書の本質を磨きながら新しい書の魅力を探求することによって、新文化の創造発展に寄与することや、書を通じた芸術文化の地域間交流を促進するとともに、紙産業の振興及び地域の活性化を図る。

また、書道パフォーマンスに励む高校生に、全国的な規模で演技する場を提供することによって、書への意欲向上と創造的な人間育成を図るとともに、高校生による高校生のための大会づくりにより、高校生の主体的な活動と相互交流や親善を図ることを目的とする。

3. 主 催

書道パフォーマンス甲子園実行委員会

4. 共 催（予定）

四国中央市、四国中央市教育委員会、紙まつり実行委員会

5. 後 援

後援団体等が決定次第、ホームページ等で公表する。

6. 日 時

令和3年7月25日（日）9：30～17：30

7. 会 場（予定）

伊予三島運動公園体育館（愛媛県四国中央市中之庄町1665-1）

8. 大会概要

- (1) 大会は、演技動画及び作品写真の審査による予選と、予選を通過した学校の演技審査による本戦で構成される。
- (2) 予選は、北海道・東北ブロック、関東ブロック、中部ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロックの7ブロックに分けて審査を行う。
- (3) 本戦出場校は、予選審査を通過した20校程度とする。
- (4) 本戦出場については、その他、実行委員会が認めた特別枠を設けることができる。
- (5) 「第14回書道パフォーマンス甲子園－19歳の部－」については、別途実施要領にて定める。

9. 参加資格

- (1) 令和3年度高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)に在学中の生徒であること。
- (2) 本大会出場に際し、所属する学校長の許可を得た生徒であること。
- (3) 本大会出場に際し、所属する学校の教諭(顧問等)がチームを引率できること。

10. チーム編成

1 チームの編成は、同一校の選手12名以内で演技するものとする。なお、本戦においては補員3名を登録することができる。

11. 予選申込期間

令和3年4月2日(金)～5月7日(金) 17:00(必着)

※ただし、動画(DVD)等は、5月21日(金)まで提出期限を延長する。

12. 予選概要

別紙「予選実施要領」のとおり

13. 参加料

5,000円(※振込先等は「予選実施要領」に記載)

14. 表彰

- (1) 本戦出場校には本戦出場証明書、予選における表彰状及び参加賞を授与する。
- (2) 本戦における表彰等は下記のとおりとする。
 - ・表彰は優勝、準優勝、3位、その他特別賞とする。
 - ・優勝チームには、表彰状、副賞、水引細工で作られた巨大筆特製優勝旗及び優勝杯を授与し、個人にメダル等を授与する。
 - ・準優勝及び3位の各チームに表彰状及び副賞と個人にメダルを授与する。
 - ・その他特別賞等には、表彰状及び副賞を授与する。

15. その他

- (1) 予選・本戦審査は、主催者が委託した審査員が採点・評価を行う。
- (2) 本戦審査員は本戦前に公開するが、本戦出場校は審査員と本戦前に接触しないよう留意する。
- (3) 本戦作品の著作権は主催者に帰属する。
- (4) 予選審査及び本戦審査の提出物は返却しない。
- (5) 大会に参加した者は、選手名を含む個人情報などについて、ホームページやパンフレットなどへの掲載、また報道関係等へ情報提供や取材等について承諾したものである。また、本戦等で撮影した写真や動画等について、大会PR等のために使用することを承諾したものである。
- (6) 本戦の演技規則や演技順の抽選方法等は、別途本戦演技規則において定める。
- (7) 本戦における入賞校の審査結果・点数等はホームページで公開する。

- (8) 本戦出場校は、大会前日に開催予定である出場校交流会へ可能な限り参加しなければならない。
- (9) 自然災害等により本戦の開催が困難な場合は中止することがある。その場合、参加等に要した経費については参加校の負担とする。なお、台風等の事前予測が可能な場合は、開催方針を開催日の3日前（7月22日（木））までに決定し、公表する。
- (10) その他、本要項に記載されていない事項については、実行委員会にて決定する。

16. 開催スケジュール（※変更となる場合があります）

時 期	内 容
3月初旬頃までに	予選演技・審査基準の公表
4月2日（金）	参加申込開始
5月7日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予選参加申込書 1部 ・ 参加料 5,000円 } 提出・支払締切
5月21日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画（DVD） 1部 ・ 完成写真 5枚 ・ 作品・演技説明 5枚 } 提出締切
5月24日（月）	予選審査開始
6月18日（金）	本戦出場校の発表（HPにて）
	以下本戦出場校
6月29日（火）	メンバー表、質問票等 提出締切
6月下旬～7月初旬	本戦における演技順公開抽選会
7月6日（火）	質問事項に対する回答を各校へ連絡
7月9日（金）	パフォーマンス計画書提出一次締切
7月15日（木）	変更計画書・選手変更申請書提出最終締切
7月24日（土）	出場校演技リハーサル、出場校交流会 ※開催未定
7月25日（日）	第14回書道パフォーマンス甲子園

17. 参加申込・お問合せ先

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号
 四国中央市教育委員会事務局 教育管理課 文化・スポーツ振興課内
 書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
 TEL：0896-28-6037 FAX：0896-28-6060
 E-mail：info@shodo-performance.jp

第12回大会と比べ、下記のとおり変更となっております。予選参加校は、本書及び予選実施要領を必ずご確認ください。

1. 予選 演技規則の見直し

(1) 揮毫用紙への別用紙の貼り付けは行ってはならない。

これまでは、別用紙に書いた絵などを揮毫用紙に貼り付けることができましたが、「揮毫を目的としない」ことについてわかり難いことや、筆を使った演技を求めたいことなどから、揮毫用紙への別用紙の貼り付けを禁止することとします。ただし、事前に準備した落款については、これまでどおり揮毫用紙へ貼り付けることができます。

(2) 揮毫用紙の色は白色とする。

本戦と規則の統一化を図り、予選における揮毫用紙の色を「白色」のみとします。

(3) 演技開始前に揮毫用紙への一切の下書き、折目等の加工を行ってはならない。

予選では、演技開始前における揮毫用紙への規定はなく、事前に下書きや色付け等を行うことが可能でした。本戦と規則の統一化を図ることや、6分間の演技時間を公平なものとするために、全ての学校が真っ白な用紙の状態からスタートすることとします。ただし、作品を掲示するための加工（裏面にポールを差し込む袋の貼付けなど）は行うことができます。

(4) カラースプレー缶は使用してはならない。

本戦では、体育館という閉鎖された空間で演技を行うため、カラースプレー缶を使用することによる空気の入替えが困難で、危険であるとの判断から使用を禁止しています。本戦と規則の統一化を図るために、予選においてもカラースプレー缶の使用は禁止します。ただし、霧吹きやはけ等は使用することができます。

(5) 照明による演出は行ってはならない。

現在、本戦においては照明による個別の演出は行っておらず、予選においては照明に関する規定がなかったため、禁止事項として新たに追加します。予選演技を撮影する際、演技中にスポットライトの使用をはじめ、照明等による色や明るさなどを調整した場合などは、演出があったものと判断しますので、絶対に行わないでください。

2. 予選 罰則事項に係る見直し

(1) 下記の場合は審査対象から除外する。

- 揮毫用紙に白色以外の用紙を使用した場合
- 揮毫用紙に落款以外の用紙の貼り付けを行った場合
- 演技開始前に揮毫用紙への下書き、折目等の加工を行った場合
- カラースプレー缶を使用した場合
- 照明による演出を行った場合

禁止事項としたものについては、ルールの統一や明確化をしたうえでの措置であることから、守られなかった場合は審査対象から除外します。これまで、審査対象から除外した学校はありませんが、今後とも演技規則の順守をお願いいたします。

【参考】本戦における見直し（令和元年12月現在の変更点です）

演技規則に係る見直し

○揮毫用紙への別用紙の貼り付けは行ってはならない。

これまでは、別用紙に書いた絵などを揮毫用紙に貼り付けることができましたが、「揮毫を目的としない」ことについてわかり難いことや、筆を使った演技を求めたいことなどから、今回、揮毫用紙への別用紙の貼り付けを禁止することとします。ただし、事前に準備した落款については、これまでどおり揮毫用紙へ貼り付けることができます。

罰則事項に係る見直し

○揮毫用紙への別用紙の貼り付けを行った場合は、審査対象から除外する。

揮毫用紙へ別用紙の貼り付けを禁止したことから、別用紙の貼り付けを行った場合は、審査対象から除外します。

第14回書道パフォーマンス甲子園 予選実施要領

1. 申込期間

令和3年4月2日（金）～5月7日（金）17:00（必着）

※ただし、動画（DVD）等は、5月21日（金）まで提出期限を延長する。

2. 提出物等

(1) 動画（DVD）・・・ 1枚 **※BD（ブルーレイディスクは不可）**

(2) 完成写真・・・ 5枚

(3) 予選参加申込書・・・ 1枚

(4) 作品・演技説明・・・ 5枚

(5) 参加料・・・ 5,000円

※申込受付後、完成写真及び選手の集合写真のJPEGデータについて、PR等に活用するためにメールなどで提出していただく予定としています。完成写真のデータは、必ず保存しておいてください。

3. 提出物の注意事項

(1) 動画（DVD）

①動画は令和3年1月1日以降に撮影したものとする。

②動画の撮影は、次の方法とする。

- ・ 演技者の正面にビデオカメラを固定し、演技の全体及び揮毫中の文字が確認できるように撮影すること。
- ・ 動画は一定の倍率で撮影し、ズーム機能等を使用しないこと。
- ・ 動画は演技最初から最後までを通して撮影すること。

③DVDは、家庭用DVDプレイヤーもしくはパソコンにて正常に視聴できることを確認したうえで、DVDの表面に学校名を記載して提出する。

(2) 完成写真

①作品の写真は、A4サイズのカラーとし、同じものを5枚提出する。

②写真の作品は提出する動画と同じ作品とする。

③写真は作品全体が確認できるように撮影する。

(3) 予選参加申込書

①参加者の学年、役職等は令和3年4月1日現在で記入する。

②参加者について学校長の証明を受けたうえで提出する。

(4) 参加料

①参加料は1校5,000円とする。

②本戦出場の有無にかかわらず、参加料として令和3年5月7日（金）17時までに現金書留又は銀行振込みにて納入する。※期日厳守

③参加料の振込先は下記のとおりとする。

愛媛銀行 三島支店 普通 5758631

書道パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 篠原 実

4. 予選演技規則

- ①演技時間は6分以内とする。
- ②演技の開始及び計測の起点は、冒頭「〇〇 高校です。お願いします」で始まり、完成後作品をできる限り掲げ「ありがとうございました」で終わる。ただし、演技開始の発声以前に音楽のスタートやパフォーマンスの動きがある場合は、その時点を計測の起点とする。
- ③演技に参加する選手は12名以内とし、令和3年度高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）に在学中の生徒とする。※新1年生参加可
- ④揮毫用紙の大きさは、概ね縦4m×横6mとする。
- ⑤揮毫用紙の色は白色とする。
- ⑥揮毫用紙への別用紙の貼り付けは行ってはならない。ただし、事前に準備した落款は揮毫用紙へ貼り付けることができる。また、貼り付けを行わない型紙等は使用することができる。
- ⑦演技開始前に揮毫用紙への一切の下書き、折目等の加工を行ってはならない。ただし、作品を掲示するための加工（裏面にポールを差し込む袋の貼付けなど）は行うことができる。
- ⑧カラスプレー缶は使用してはならない。ただし、霧吹きやはけ等は使用することができる。
- ⑨照明による演出は行ってはならない。

5. 罰則事項

- ①下記の場合は審査対象から除外する。
 - ・演技参加人数が12名を超えている場合
 - ・完成写真と動画作品が異なる場合
 - ・演技中の動画を編集した場合
 - ・揮毫用紙の大きさが概ね縦4m×横6mよりも明らかに大きなものを使用した場合
 - ・揮毫用紙に白色以外の用紙を使用した場合
 - ・揮毫用紙に落款以外の用紙の貼り付けを行った場合
 - ・演技開始前に揮毫用紙への下書き、折目等の加工を行った場合
 - ・カラスプレー缶を使用した場合
 - ・照明による演出を行った場合
- ②その他、提出物に不備や虚偽、または違反があると認められる場合は、主催者で減点または審査対象から除外する。

6. その他

- ①予選審査提出物は返却しない。
- ②予選に応募した演技動画や作品写真は、本大会のPR等のために使用することがある。
- ③本要領に係る詳細については、予選実施要領Q&Aに記載する。
- ④本要領及びQ&Aに記載されていない事項は実行委員会で決定する。
- ⑤審査基準については、令和3年3月初旬頃までに公表する。

7. 参加申込・お問合せ先

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号
四国中央市教育委員会事務局 教育管理課 文化・スポーツ振興課内
書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
TEL : 0896-28-6037 FAX : 0896-28-6060
E-mail : info@shodo-performance.jp
HP : <https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/site/shodo-performance>

第 14 回書道パフォーマンス甲子園 予選審査基準等における変更点

予選及び本戦において、審査員 1 人当たりの持ち点を平準化することやわかり難い審査項目の見直しなどを目的に、審査基準等について下記のとおり変更しましたのでお知らせします。予選参加校は、本書及び予選審査基準を必ずご確認ください。

1. 予選 本戦 審査基準等の見直し

(1) 審査項目及び配点を下記のとおり変更する。

独創性の項目は、書道部門とパフォーマンス部門の両方に設けていましたが、書道部門においては独創性の内容が伝わり難かったことから項目を削除し、パフォーマンス部門においては演技構成の中で評価することとします。また、専門的な審査に重点を置き、印象的な評価に偏らないために、総合以外の審査項目の配点を大きくしました。

これまでの評価			第 14 回大会の評価			
部門	審査項目	配点	部門	審査項目	配点	審査内容
書道	書の美	10 点	書道	書の美	30 点	書の美しさ、文字表現の美しさ、色彩の美しさ、選択した言葉の評価
	紙面構成	10 点		紙面構成	30 点	行の流れや紙面全体のバランス、一体感の評価
	用筆の正確さ	10 点		用筆の正確さ	30 点	用筆の正確さ、運筆の巧みさの評価
	独創性	10 点		総合	10 点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価
	総合	10 点		パフォーマンス	所作の美しさ	30 点
パフォーマンス	所作の美しさ	10 点	演技構成		30 点	演技のストーリー性や組み立て、 また独創性のほか 、チーム全体の一体感の評価
	演技構成	10 点	身体表現		30 点	表情も含め、パフォーマンス、身体での表現度の評価
	身体表現力	10 点	総合		10 点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価
	独創性	10 点				
	総合	10 点				

(2) 順位決定方法を変更する。

これまで、各審査員が上記審査項目に基づく採点結果を合計し、最も得点の高い学校を最上位としてきました。これでは、審査員の採点方法の違いが大きく順位に影響することが考えられるため、今回、各審査員が採点を行った結果に導かれる順位を得点とし、その順位点の合計が最も低い学校を最上位とする方法に変更します。これにより、例えば 20 校を審査する場合、審査員の持ち点は 1 位の 1 点から 20 位の 20 点までの 210 点となり、全ての審査員が同じ持ち点で審査を行うことができると考えています。そのため、採点結果が同点だった場合は同順位とせず、必ず各審査員の判断で順位付けを行い、1 人当たりの順位点の合計が同じ点 (20 校の審査の場合は 210 点) となるようにします。

詳細は、予選審査基準別紙 1 をご確認ください。

(3) 演技時間が6分を超えた場合の罰則を下記のとおりとする。

演技時間が6分を超えた場合の罰則は、10秒毎に審査員1人当たりの順位点に対して1点の加点とします。そのため、予選では各地方ブロックに4名の審査員がいることから、10秒毎に順位点の合計に対して4点の加点となり、本戦では8名の審査員がいることから、10秒毎に順位点の合計に対して8点の加点となります。演技時間が6分を超えないようご注意ください。

2. 予選 本戦 評価内容等について

(1) 書順（筆順）の評価について

書道パフォーマンスは、文字どおり書道とパフォーマンスが組み合わさったものであり、車の両輪のごとく切り離すことができないものです。こうした書道パフォーマンスは、書道を主体的に考えることが重要ですが、その上で書体の組み合わせや自由な発想、そして魅せることを意識した運筆や時代感覚に基づくアレンジなどが大きな魅力であると考えています。

こうしたことから、書道パフォーマンス甲子園において、アレンジした書順（筆順）で揮毫することについて、演技の一つとして捉えています。

しかしながら、そのアレンジについては、他の書やパフォーマンスと同様に全てが高く評価されるものではなく、当然、その出来次第によって評価は分かれることにご留意ください。

(2) 【追記】 揮毫用紙への別用紙の貼り付けは行ってはならない。

標記の件については、令和2年12月に公開した「予選実施要領」及び「予選演技規則等における変更点」において周知したところですが、別用紙の取り扱いについて追記します。

揮毫用紙に貼り付けることが可能なものは、事前に準備した落款のみとし、紐や布などの一切の装飾物を貼り付けることは認められません。しかし、紐や布などを揮毫用紙に貼り付けずに使用することや、またそうした紐などが揮毫用紙に触れることは問題ありません。

なお、作品を掲示するための加工として、裏面にポールを差し込む袋の貼り付けや、ポールに紐を取り付けることなどは、これまでどおり行うことができます。ただし、裏面においても絵などの装飾物を貼り付けることは認められません。

第14回書道パフォーマンス甲子園 予選審査基準

1. 審査結果の発表

令和3年6月18日（金）

2. 審査方法

- (1) 予選は別に定める開催要項及び予選実施要領に則り、書道パフォーマンスの動画及び写真により審査する。
- (2) 審査は書道部門とパフォーマンス部門に分けて行い、審査員の人数は書道部門2名、パフォーマンス部門2名とする。
- (3) 審査は全国を北海道・東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の7つの地方ブロックに分けて行い、地方ブロック毎に審査員長を定める。

3. 順位の決定（※別紙1参照）

- (1) 各審査員が下記に定める審査項目による採点を行い、その採点結果に基づく地方ブロック内の順位を得点とし、審査員の順位点の合計が最も少ない学校を1位とする。
- (2) 審査項目による採点が同点の場合は、各審査員の判断により順位を決定する。
- (3) 順位点の合計が同点の場合は、審査項目における書道部門の採点合計が高い学校を上位とする。書道部門の採点合計が同点の場合は、当該ブロックの予選審査員長の順位点により決定する。

4. 審査項目等

各審査員は下記の審査項目、審査内容、配点による採点を行い、順位点を導くものとする。

- (1) 書道部門は、「書の美」、「紙面構成」、「用筆の正確さ」、「総合」の4つの審査項目について採点し、審査内容及び配点は下記のとおりとする。
- (2) パフォーマンス部門の審査項目は、「所作の美」、「演技構成」、「身体表現」、「総合」の4つの審査項目について採点し、審査内容及び配点は下記のとおりとする。

【審査項目等】

部門	審査項目	配点	審査内容
書道	書の美	30点	書の美しさ、文字表現の美しさ、色彩の美しさ、選択した言葉の評価
	紙面構成	30点	行の流れや紙面全体のバランス、一体感の評価
	用筆の正確さ	30点	用筆の正確さ、運筆の巧みさの評価
	総合	10点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価
パフォーマンス	所作の美	30点	書く姿の美しさの評価
	演技構成	30点	演技のストーリー性や組み立て、また独創性のほか、チーム全体の一体感の評価
	身体表現	30点	表情も含め、パフォーマンス、身体での表現度の評価
	総合	10点	書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価

5. 本戦出場校選出方法（※別紙2参照）

- (1) 本戦出場校数は20校程度とし、各地方ブロックにおける本戦出場校数は、全体の応募校数に対する各地方ブロックの応募校数の割合により決定する。なお、応募があった地方ブロックからは、必ず1校は選出する。
- (2) 各地方ブロックにおける本戦出場校数は次の計算式により決定する。（小数点以下切捨）

$$\text{本戦出場校数} 20 \text{ 校} \times \text{全応募校数に占める当該ブロック応募校数の割合} \\ = \text{該当ブロック選出校数}$$

- (3) 上記(2)で算出した本戦出場校の合計が20校程度に満たない場合は、各地方ブロック内における選出校数の割合が低い地方ブロックから順に充当する。なお、ブロック内選出校の割合が同じ地方ブロックがあった時は、応募校数の多い地方ブロックから順に充当する。

【充当例】 Aブロック：選出校数3／応募校数5 = Aブロックにおける選出校割合60%
Bブロック：選出校数2／応募校数4 = Bブロックにおける選出校割合50%
Cブロック：選出校数3／応募校数6 = Cブロックにおける選出校割合50%
⇒ 選出校割合が低く、応募校数がBブロックに比べて多いCブロックから充当

6. 罰則事項

予選実施要領に定めるもののほか、罰則事項については下記のとおりとする。なお、予選実施要領においては、罰則事項に減点と記載しているが、減点から加点に修正する。

- ①動画の演技時間が6分を超える場合は、10秒毎に順位点に4点加点する。
- ②下記の場合は審査対象から除外する（予選実施要領に規定）。
- ・演技参加人数が12名を超えている場合
 - ・完成写真と動画作品が異なる場合
 - ・演技中の動画を編集した場合
 - ・揮毫用紙の大きさが概ね縦4m×横6mよりも明らかに大きなものを使用した場合
 - ・揮毫用紙に白色以外の用紙を使用した場合
 - ・揮毫用紙に落款以外の用紙の貼り付けを行った場合
 - ・演技開始前に揮毫用紙への下書き、折目等の加工を行った場合
 - ・カラースプレーを使用した場合
 - ・照明による演出を行った場合
- ③その他、提出物に不備や虚偽、または違反があると認められる場合は、主催者で加点または審査対象から除外する。

7. その他

- (1) 審査結果は審査員名を非公開とし、応募校に対して地方ブロック順位の一覧、自校の順位点・総得点・得点内訳・審査員講評を送付する。なお、ホームページ等においては、各校の順位点と順位を公開し、学校名については本戦出場校のみの公開とする。
- (2) 本基準に記載されていない事項は実行委員会で決定する。

8. 参加申込・お問合せ先

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番5号
四国中央市教育委員会事務局 教育管理課 文化・スポーツ振興課内
書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
TEL：0896-28-6037 FAX：0896-28-6060 E-mail：info@shodo-performance.jp

書道パフォーマンス甲子園

検索



別紙 1

順位決定の例

学校名	書道部門												パフォーマンス部門												順位点合計	罰則加点	合計点	ブロック内順位
	審査員A						審査員B						審査員C						審査員D									
	書の美	紙面構成	用筆の正確さ	総合	採点	順位点	書の美	紙面構成	用筆の正確さ	総合	採点	順位点	所作の美	演技構成	身体表現	総合	採点	順位点	所作の美	演技構成	身体表現	総合	採点	順位点				
	/30	/30	/30	/10	/100		/30	/30	/30	/10	/100		/30	/30	/30	/10	/100		/30	/30	/30	/10	/100					
あ高校	28	28	29	9	94	1	26	24	25	7	82	3	30	29	28	10	97	1	29	27	29	9	94	2	7	0	7	1
い高校	26	25	27	9	87	3	25	25	27	8	85	2	27	27	27	9	90	2	29	29	29	10	97	1	8	0	8	2
う高校	28	26	26	8	88	2	26	27	27	8	88	1	25	27	25	8	85	4	27	28	28	8	91	3	10	4	14	3
え高校	25	25	24	8	82	4	20	23	24	7	74	4	20	24	20	6	70	5	24	21	20	6	71	5	18	0	18	4
お高校	26	23	24	7	80	5	18	21	21	7	67	6	29	28	24	8	89	3	26	25	26	6	83	4	18	0	18	5
か高校	19	19	19	7	64	6	21	18	22	7	68	5	20	21	20	6	67	6	19	18	19	6	62	8	25	0	25	6
き高校	18	18	19	5	60	7	18	22	20	7	67	6	17	18	20	7	62	7	20	20	20	7	67	7	27	0	27	7
く高校	18	18	18	6	60	8	21	20	18	6	65	8	19	18	16	7	60	8	20	21	22	7	70	6	29	0	29	8

13

採点の見直しは、審査員1人当たりの持ち点を平準化することを目的の一つとしているため、採点と同点の場合は、必ずその審査員の判断で順位を決定する。

合計点と同点の場合は、書道部門の採点合計が高い学校を上位とする。

え高校 $82+74=156 > 147=80+67$ お高校
 ※書道部門の採点合計が同点の場合は、予選審査員長の順位点により決定する。

別紙 2

本戦出場校の選出例

例：応募校数 120 校、本戦出場校数 20 校の場合

1. 本戦出場校数の決定

ブロック	応募校数 (A)	全体に占める応募校数の割合 (%) (B)	選出校数 ($20 \times B / 100$) = (C) (小数点切捨)	ブロック内選出校割合 (%) (C/A)	選出校数 充当数	選出校数 (最終)
北海道・東北	13	10.8	2	15.4		2
関東	22	18.3	3	13.6		3
中部	16	13.3	2	12.5	1	3
近畿	20	16.7	3	15.0		3
中国	15	12.5	2	13.3	1	3
四国	23	19.2	3	13.0	1	4
九州	11	9.2	1	9.1	1	2
合計	120	100	16		4	20

2. 出場校の決定

ブロック	応募校数	選出校数 (最終)	応募校	審査員																ブロック 内順位	備考	
				書A	書B	書C	書D	書E	書F	書G	書H	ハA	ハB	ハC	ハD	ハE	ハF	ハG	ハH			
北海道・東北	13	2	A1	1	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6	1	本戦出場	
			A2	2	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7	2	本戦出場
			A13	13	12	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	49	13	
関東	22	3	B1	/	/	3	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7	1	本戦出場	
			B2	/	/	2	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	12	2	本戦出場
			B3	/	/	1	4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	13	3	本戦出場
中部	16	3	B22	/	/	21	19	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	83	22		
			C1	/	/	/	/	2	3	/	/	/	/	/	/	2	3	/	/	10	1	本戦出場
			C2	/	/	/	/	3	5	/	/	/	/	/	/	5	1	/	/	14	2	本戦出場
近畿	20	3	C2	/	/	/	/	1	4	/	/	/	/	/	6	4	/	/	15	3	本戦出場	
			C16	/	/	/	/	13	15	/	/	/	/	/	/	15	16	/	/	59	16	
			D1	/	/	/	/	/	/	3	6	/	/	/	/	/	/	1	1	11	1	本戦出場
中国	15	3	D2	/	/	/	/	/	/	4	1	/	/	/	/	/	4	3	12	2	本戦出場	
			D3	/	/	/	/	/	/	5	2	/	/	/	/	/	5	2	14	3	本戦出場	
			D20	/	/	/	/	/	/	19	20	/	/	/	/	/	/	19	18	76	20	
四国	23	4	E1	1	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	/	4	/	9	1	本戦出場		
			E2	3	/	/	/	2	/	/	/	/	/	/	/	1	/	11	2	本戦出場		
			E3	4	/	/	/	4	/	/	/	/	/	/	3	/	12	3	本戦出場			
九州	11	2	E15	15	/	/	/	15	/	/	/	/	/	/	/	14	/	57	15			
			F1	/	1	5	/	/	/	/	/	/	/	/	1	3	/	/	10	1	本戦出場	
			F2	/	2	1	/	/	/	/	/	/	/	/	4	4	/	/	11	2	本戦出場	
合計	120	20	F3	/	3	3	/	/	/	/	/	/	/	5	1	/	/	12	3	本戦出場		
			F4	/	4	4	/	/	/	/	/	/	/	/	3	5	/	/	16	4	本戦出場	
			F23	/	21	23	/	/	/	/	/	/	/	/	22	23	/	/	89	23		
九州	11	2	G1	/	/	1	/	/	/	1	3	2	/	/	/	/	/	7	1	本戦出場		
			G2	/	/	2	/	/	2	4	1	/	/	/	/	/	/	9	2	本戦出場		
			G11	/	/	11	/	/	11	10	/	/	/	/	/	/	/	43	11			

1. 予選動画について	15
問1. 演技の流れを教えてください。	15
問2. 予選参加のために、新たに動画を撮影する必要がありますか。	15
問3. 演技時間を計測する起点と終点を教えてください。	15
問4. 令和2年12月20日に撮影したものを提出することはできますか。	15
問5. DVDの映像内に、学校名や生徒の氏名を入れる必要はありますか。	15
2. 撮影方法等について	16
問6. 撮影方法について教えてください。	16
問7. 演技者の正面とはどの方向になりますか。	16
問8. ビデオカメラを設置する高さや角度を教えてください。	16
問9. 撮影した映像に手振れがありましたが大丈夫ですか。	17
問10. 日光を遮断し、体育館の照明を使って撮影することはできますか。	17
問11. 動画に雑音が入ってしまうのですが大丈夫ですか。	17
3. 演技内容等について	18
問12. 作品を掲げる方法や時間に規定はありますか。	18
問13. 音楽に関する規定を教えてください。	18
問14. 演技は体操着などの軽装でもかまいませんか。	18
問15. 予選と本戦では、同じ演技内容と選手で行う必要がありますか。	18
問16. カラースプレー缶、ハケやモップなどを使用することはできますか。	18
問17. 紙吹雪や金粉等を使用して文字等に色付けすることは可能ですか。	19
問18. 演技開始前の揮毫用紙に、文字を書くための目印等を付けることはできますか。	19
問19. 選手全員で揮毫する必要はありますか。	19
問20. 演技に参加する人数に、補助をしている生徒は含まれますか。	19
問21. 演技に参加する人数に、何名以上という規定はありますか。	20
問22. 少し小さい用紙に揮毫しても大丈夫ですか。	20
問23. 「〇〇高校です。お願いします。」の部分を言い忘れてしまいました。	20
問24. 演技中に揮毫用紙が破損してしまいました。	20
4. 参加申込について	21
問25. 1つの学校で2チームの参加は可能ですか。	21
問26. 2校の合同チームで参加することは可能ですか。	21
問27. 完成写真とはどのようなものですか。モノクロでも大丈夫ですか。	21
5. 参加料について	22
問28. 参加料を現金書留で支払う場合の宛先を教えてください。	22
問29. 参加料の領収書は発行されますか。	22

1. 予選動画について

問1. 演技の流れを教えてください。

【回答】

予選DVDの演技及び撮影に関する一連の流れは次のとおりです。

- ①撮影を開始する。
- ②「〇〇高校です。お願いします。」で演技を開始する。
- ③作品完成後、できる限り作品を掲げた状態で「ありがとうございました。」の発声を行い、演技を終了する。
- ④演技終了後、撮影を終了する。

問2. 予選参加のために、新たに動画を撮影する必要がありますか。

【回答】

予選実施要領の規定を満たす方法や期間内での撮影であれば、予選のために新たに撮影した動画でも、文化祭等で撮影した動画でも問題ありません。

問3. 演技時間を計測する起点と終点を教えてください。

【回答】

演技冒頭の「お願いします」の言い終わりから時間計測を開始し、演技後の「ありがとうございました」の言い終わりまで、時間計測を終了します。この間を6分以内としてください。2回続けて発声する場合は、2回目の発声の言い終わりを起点とします。

問4. 令和2年12月20日に撮影したものを提出することはできますか。

【回答】

提出できません（審査対象外です）。予選実施要領に撮影日を令和3年1月1日以降に撮影したものと明確に規定していますので、厳守してください。

問5. DVDの映像内に、学校名や生徒の氏名を入れる必要はありますか。

【回答】

DVDの映像内に学校名や生徒の氏名を入れる必要はありません。ただし、DVDの表面には必ず学校名を記載してください。

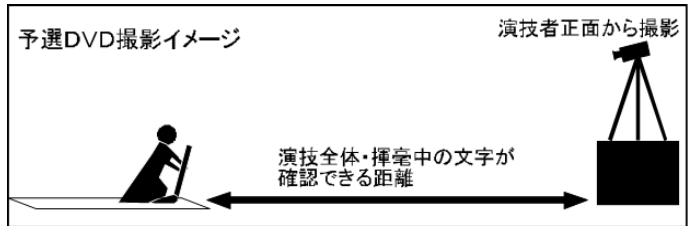
2. 撮影方法等について

問6. 撮影方法について教えてください。

【回答】

公平な審査を行うため、撮影方法は次のとおりとしてください。カメラを移動させながらの撮影や、ズームイン、ズームアウト、カットの編集などは絶対に行わないで下さい。動画の編集を行った場合は、審査対象から除外となりますのでご注意ください。

- ・演技者の正面でカメラを固定する。
- ・演技の始めから終わりまでを、録画を止めることなく撮影する。
- ・演技全体と揮毫中の文字が確認できるように撮影する。
- ・一定の倍率で撮影する。

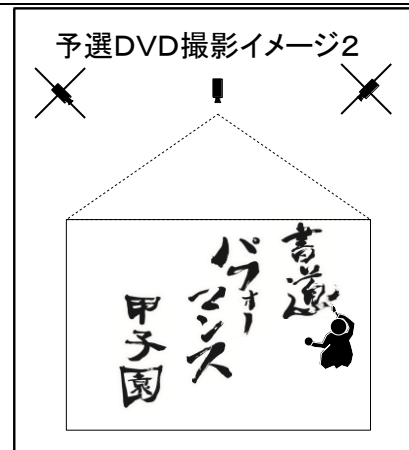


問7. 演技者の正面とはどの方向になりますか。

【回答】

正面とは、右図のとおり揮毫している演技者から向かって正面となり、撮影は基本的に真正面から行ってください。

しかし、撮影場所等の理由から、真正面からの撮影が難しい場合は、多少真正面から外れた場所からの撮影でも問題ありません。

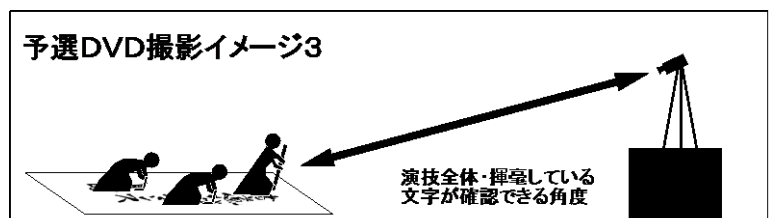


問8. ビデオカメラを設置する高さや角度を教えてください。

【回答】

学校によって演技する場所が異なるため、撮影する高さや角度に指定はありません。演技全体と揮毫中の文字が確認できるように撮影する必要がありますので、体育館で撮影する場合などは、ステージなどの演技者よりも高い位置から撮影してください。また、2階等から撮影することに問題はありませんが、できる限り正面を向いている演技者の顔が判別できるように撮影してください。

なお、揮毫している文字が確認できないことによるペナルティーはありませんが、審査への影響が考えられますのでご注意ください。



問9. 撮影した映像に手振れがありましたが大丈夫ですか。

【回答】

映像に手振れがあったとしても問題ありません。ただし、映像が観にくい場合は、審査への影響が考えられますのでご注意ください。

問10. 日光を遮断し、体育館の照明を使って撮影することはできますか。

【回答】

問題ありません。照明による演出を禁止していますが、それは演技中にスポットライトの使用や、照明の色や明るさを人為的な操作によって調整することです。

照明による演出を行った場合は、審査対象から除外となりますのでご注意ください。

問11. 動画に雑音が入ってしまうのですが大丈夫ですか。

【回答】

他の部活動や学校が工事中などのために、動画に雑音が入ることは仕方ありません。しかし、音楽が雑音で聴き取り難くなることにより、審査に影響がでることが考えられますので、なるべく雑音が入らない工夫をしてください。

3. 演技内容等について

問 12. 作品を掲げる方法や時間に規定はありますか。

【回答】

予選動画の演技では、作品を掲げる方法や時間に規定はありません。しかし、必ず演技を行った選手12名以内で作品を掲げてください。室内等での撮影のため、作品を垂直に掲げることができない場合は、できる範囲の中で作品を掲げてください。

なお、予選では必要ありませんが、本戦では作品を垂直にした状態で15秒間掲げる必要があります。

問 13. 音楽に関する規定を教えてください。

【回答】

使用する音楽に規定はありません。複数の音楽を編集したものなども使用することができます。

問 14. 演技は体操着などの軽装でもかまいませんか。

【回答】

服装についての規定はなく、体操着などの軽装でも問題ありません。ただし、高校生らしい公序良俗に反しない服装としてください。

問 15. 予選と本戦では、同じ演技内容と選手で行う必要がありますか。

【回答】

予選と本戦で同じ演技を行わなければならない規定はありません。そのため、本戦は予選と同じ演技でも、違う演技でも問題ありません。

また、参加する選手についても、参加資格を満たしていれば、予選と本戦で異なっても問題ありません。

問 16. カラースプレー缶、ハケ、モップ、霧吹きなどを使用することはできますか。

【回答】

第13回大会から本戦との規則の統一化を図ることなどから、カラースプレー缶の使用は禁止しました。カラースプレー缶を使用した場合は審査対象外となりますので、絶対に使用しないでください。

霧吹きやハケ、モップなどについては、これまでどおり使用することができます。

問 17. 紙吹雪や金粉等を使用して文字等に色付けすることは可能ですか。

【回答】

紙吹雪や金粉等を使って文字等へ色付けすることは、別用紙の貼り付けに該当しませんので、これまでどおり使用することが可能です。

ただし、本戦においては、大量の紙吹雪や金粉等を使用すると、その片づけに時間を要し、他の学校の演技開始が遅れることが考えられますので、本戦での使用量や方法については事務局までご相談ください。

問 18. 演技開始前の揮毫用紙に、文字を書くための目印等を付けることはできますか。

【回答】

目印や下書き等を行うことはできません。演技は、真っ白な紙からスタートする必要があります。ただし、作品を掲示するための加工として、揮毫用紙の両端にポールを取り付けることや揮毫用紙の裏面にポールを差し込むための袋等を貼り付けること、またポールに紐などを取り付けることはできます。

演技開始前の揮毫用紙に目印や下書き等がある場合は、審査対象から除外となりますのでご注意ください。

問 19. 選手全員で揮毫する必要はありますか。

【回答】

選手全員が揮毫しなければならない規定はありません。そのため、12名以内であれば、揮毫はせずにパフォーマンスだけを行う選手がいても問題ありません。

問 20. 演技に参加する人数に、補助をしている生徒は含まれますか。

【回答】

演技に参加する人数とは、演技開始の挨拶から演技の実施、そして作品掲示までの一連の演技構成に直接参加している生徒を指します。よって、演技の一部を構成せずに、用紙を押さえているだけの生徒などは、演技に参加する人数にカウントしません。ただし、演技者と同様の特別な衣装を着て用紙を押さえているなど、演技に参加していると認められる場合は、演技人数にカウントします。個別の事例については事務局までお問合せください。

問 21. 演技に参加する人数に、何名以上という規定はありますか。

【回答】

人数に関する下限の規定はありません。しかし、本戦では作品を持ち上げて披露する必要がありますので、最低でも2名は必要であると考えます。

問 22. 少し小さい用紙に揮毫しても大丈夫ですか。

【回答】

揮毫用紙の大きさは概ね縦4m×横6mと規定し、概ねとは縦3m80cm～4m20cm×横5m80cm～6m20cm程度を想定しています。これより明らかに大きいと認められるものについては、審査対象外となります。

これより小さいサイズについては応募することはできますが、規定サイズに比べ小さく見えることから、審査への影響が考えられますのでご注意ください。

なるべく想定内サイズの内紙をご準備ください。

問 23. 「〇〇高校です。お願いします。」の部分を書き忘れてしまいました。

【回答】

最初から最後まで、演技が撮影できていれば審査を行うことができます。その場合、演技時間の計測開始の起点は、音楽開始時点または選手の行動開始時点のうち、先に始めた時点とします。

なお、言葉を言い忘れたことによるペナルティーはありませんが、明らかに演技途中からの撮影であった場合などは審査できないことがありますのでご注意ください。

問 24. 演技中に揮毫用紙が破損してしまいました。

【回答】

演技中に揮毫用紙が破れるなどの破損は仕方ありません。しかし、審査をするうえで、作品が破損したことによる影響は考えられますのでご注意ください。

揮毫用紙が破損した場合、完成写真の撮影のためにテープ等で揮毫用紙を補修することは問題ありません。しかし、作品に加筆修正した場合は、審査対象外となります。

4. 参加申込について

問 25. 1つの学校で2チームの参加は可能ですか。

【回答】

2チームは参加できません。各校1チームのみです。

問 26. 2校の合同チームで参加することは可能ですか。

【回答】

学校の統廃合等の理由による合同チームとする場合は、実行委員会で協議します。しかし、現在のところ、部員が少ない等の理由による合同チームでは参加することができません。

また、他校との合同演技による動画や書道部OG等が加わった動画は審査対象外となります。

問 27. 完成写真とはどのようなものですか。モノクロでも大丈夫ですか。

【回答】

完成写真は、審査員が作品を審査するときに使用するものです。そのため、作品全体を確認することができ、文字が判別できる必要があります。写真の撮影方法は、掲げた状態、床に置いた状態等は問いません。

写真サイズはA4でフルカラーとし、モノクロでの提出は受け付けません。なお、写真は普通紙にカラーでプリントしたものでもかまいません。

5. 参加料について

問 28. 参加料を現金書留で支払う場合の宛先を教えてください。

【回答】

参加料は1校5,000円です。現金書留の宛先は、申込書類の提出先と同じ下記のとおりです。

宛先：書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

住所：〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号

電話：0896-28-6037

振込先：愛媛銀行 三島支店 普通 5758631

書道パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 篠原 実

問 29. 参加料の領収書は発行されますか。

【回答】

参加料の領収書は、宛名を『〇〇学校 書道部』としたものを、予選審査結果通知に同封して送付いたします

予選参加申込書

太枠内に漏れなく
記入してください。

1部提出

ふりがな

学校名
(正式名称)

受付№. ※事務局記入

記入日 令和3年2月15日

(1) 学校

所在地	〒	
電話番号	F A X	

(2) 担当者

ふりがな		
氏名	肩書	
携帯 電話番号	メール アドレス※	

(3) 参加者数

※メールで連絡する場合がありますのでPCのアドレスを記入してください。

1年生	名	2年生	名	3年生	名	合計 ※	名
-----	---	-----	---	-----	---	---------	---

※合計12名以内

(4) 参加者氏名

	氏名/ふりがな	学年	性別
1		年	
2		年	
3		年	
4		年	
5		年	
6		年	
7		年	
8		年	
9		年	
10		年	
11		年	
12		年	

第14回書道パフォーマンス甲子園の参加申込に係る演技DVDで演技を行っている生徒は、上記に記載されている生徒であり、令和3年4月1日現在で本校に所属していることを証明します。

学校長名

印

(5) 提出物

提出前に 右記を確認し、 ✓を記入 してください	動画DVD・・・1部	ディスクの表面に学校名を記入した 家庭用DVDプレイヤー及びパソコンで正常に視聴できる
	完成写真・・・5部	A4カラーである 5部送付する準備ができています
	作品説明・・・5部	5部送付する準備ができています
	予選参加申込書・・・1部	全項目に記入ができています 学校長の捺印がなされています
	参加料5,000円	銀行振込または現金書留で納入する準備ができています

第14回書道パフォーマンス甲子園

作品・演技説明

5部提出

受付No. ※事務局記入

都道府県

学校名

※100字以内に収めてください。

※句読点や記号は1文字としてカウントします。

※アルファベット・単語間の空白は1文字としてカウントします。(例) "Good Luck"…9文字

※改行しないでください。

※文字数の下限はありません。